

回復基調の経済の原動力となる 人材トレーニングを開発する

世界経済はいま、ようやく回復基調の兆しを見せています。インド、中国などアジア諸国の経済成長も順調で、この流れは欧米諸国の経済活性を促すものと思われま

す。わが国の経済も、こうしたグローバルな景気回復のトレンドに対応していくものと期待されます。コストの大幅削減と高品質を同時に求められる厳しい環境で、我々はビジネスモデルの大きな変革を迫られています。世界経済が再生していくために新たなstrategyを必要とするように、人材教育においても個人や組織をより活性化する新たな学習支援システムを用意する必要があります。

「腑に落ちる」という言葉があります。それは、ある言葉や状況に対して納得すること、そして新しい行動や確信に満ちた行動を促すものになるものといえるでしょう。いま人材教育に求められているものは、研修に参加する個人や組織を徹底して「腑に落ちさせる」ような研修のあり方なのではないでしょうか。納得性の高さは、個人や組織がその能力を十二分に発揮し、効果性、価値を高める重要な要素になるはずで

す。いま、人材教育の現場では、セールス、スタッフ、マネジャーなど多様なビジネスシーンに対応した、より

現実的で即効性のあるトレーニングが求められています。ビジネスシーンの中で、他人に影響しきることができるコミュニケーションとはどういうものか、個人や組織の潜在的な能力をも開発するリーダーシップとはなにか、こうした切実な要望に応えるトレーニングができなければ、ファシリテーターやコンサルタントとして生き残ることが難しい時代であるともいえます。

こうしたニーズに対応するために、新たなステップとして用意されたファシリテーションシステムが、EPICをプラットフォームとしたEverything DiSC®1.5eです。多様な要望を吸収して創造され、すぐに実践的にDiSCを活用できる研修プログラムは、個人や組織を「腑に落ちさせる」納得性の高いソリューションの提供を可能にするはずで

す。Inscape Publishing社のレポートによると、2010年の最初の四半期を振り返ると、人材開発業界に上向きな感触が出ているといいます。そして、この回復基調には、原動力となるグローバルなトレンドがあり、大きな牽引力が働くとしています。そのトレンドにマッチし日本における牽引力となるものが、新たなファシリテーションシステムによる人材教育であると、私たちは考えています。

Contents

Everything DiSC® 1.5eファシリテーションシステム……	2	DiSCは次の10年に向けて歩み始めています。……	7
ひとつのUSBにパックして提供されます。……	3	TOPICS 研修テクニックと研修効果に関する調査レポート	
DiSC理論の最新研究レポートが含まれています。……	4	HRD INFORMATION ……	8
代表的なDiSCアプリケーションをカバーします。……	5	■DiSC認定セミナー	
EPICはDiSCプログラム運用の最適プラットフォームです。……	6	■米国研修業界の現状報告 ほか	

Everything DiSC® 1.5e ファシリテーションシステム

"Everything you need to succeed with DiSC"

DiSCファシリテーションシステムの決定版として、多様な要望を吸収し、クリエイトされた製品です。DiSCトレーニングのプラクティスから、理論背景の詳細な解説までを網羅し、コミュニケーション、マネジメント、セールストレーニングなどに対応した豊富なアプリケーションも用意されています。



日本人映像によりリアルなプログラムに

- ・ DiSCトレーニングのすべてが詰まった、ファシリテーター向けのオールインワンシステム。
- ・ これまで世界中で活用されてきた DiSC経験の結果から生み出されています。
- ・ 講師・トレーナー・ファシリテーターとして、DiSCを効果的に活用するための、DiSCファシリテーション・サポートシステムです。
- ・ 様々な資料やDiSC実習を活用した、シンプルで効果的なDiSCベース研修ソリューションを、短時間で創りだせます。
- ・ 顧客の幅広い研修ニーズに対応しています。
- ・ ベースとなる基本ツールは、オンライン版DiSC Classic2.0です。DiSC PPSS、あるいはペーパー版のDiSC Classicでも可。それらを使って様々な研修を提供する際の、ファシリテーションガイドラインです。

モジュール

DiSCノウハウを16のモジュールに

このなかのモジュールを選んでカスタマイズするだけで、簡単に顧客向けにカスタマイズされたソリューションを創りだせます。

- ・ 20種類以上の研修アクティビティ
- ・ 250枚以上のパワーポイント・日本人映像(68シーン、合計 83分)
- ・ 受講者用ハンドアウト
- ・ 講師用リーダーズガイド

プログラム

セミナーで、すぐに DiSCを活用できる6種類のプログラムと15のコース

用意されたコースアウトラインが、短時間で、顧客のニーズに合わせたあなただけのDiSCソリューションを生み出すサポートをしてくれます。

- ・ コミュニケーション ・ コンフリクト ・ セールス
- ・ 自己への気づき ・ マネジメント ・ チームビルディング

ひとつのUSBにパックして提供されます。

Everything DiSC® 1.5e は、USB デバイスの中に、パワーポイント、映像、講師用台本などがひとつのパックにして提供されます。

コンパクトなデバイスに含まれる多様なプログラムが、ファシリテーターやコンサルタントを強力にサポートします。



Everything DiSC® 1.5eに含まれるもの

- USB デバイス
(パワーポイント、映像、ハンドアウト、講師用台本・リーダーズガイド、DiSC理論)
- Everything DiSC DVD (日本人映像)
- ピープルリーディング・ガイド
- QuikDiSC
- DiSC カード

● DiSC® 理論の最新研究レポートが含まれています。

Everything DiSC® 1.5eには、Inscape Publishing社 (IP社)の最新版調査研究レポートが含まれています。

IP社は、全米最大のコンサルタントネットワークを背景に持つ、優れた開発・調査機関です。DiSCユーザーに、最新の正確な情報を提供します。



① DiSC理論の詳細、最新の調査情報

DiSC理論の歴史的変遷を明らかにしています。
DiSC行動モデルに関する最新の研究が記述されています。

② 詳細なバリデーションレポートを組み込んでいます。

Everything DiSC® 1.5eには、検証プロセスの方法から信頼性、妥当性の検討によるバリデーションレポートが提供されています。尺度間の相互的關係、質問項目の因子分析、標準値(ローカライズ)など、様々な分析の詳細が公開されています。
ファシリテーターが、DiSCの信頼性、妥当性を訴求できるバックボーンになるものです。

DiSC グラフの解釈について

DiSCアセスメントに回答するとき、具体的な環境に絞って回答すべきでしょうか。あるいは包括的に回答すべきでしょうか。この答は、ファシリテーターによって様々です。

環境設定に関する論争は、様々な主張を生み出しています。これは、実践と理論の間に存在する混乱から生じています。

現在の研究から、この問題について整理しています。

回答にあたっての環境設定

回答者の得点を測定するために開発された3つのグラフの解釈に関する議論が明確化されています。

グラフIとグラフIIの差異をどのように説明するのか。今日どこまで解明が進んでいるか。最新の調査動向から分かりやすい説明を知っていただけます。

● 代表的なDiSCアプリケーションをカバーします。

DiSCはどんな課題解決に活用されているのか。Everything DiSC® 1.5eは、世界中のDiSCファシリテーターに活用されている代表的なアプリケーションをカバーしています。そのアプリケーションの概要を紹介します。

コミュニケーション

コミュニケーションは誰にとっても基本的なスキルです。しかし、残念なことにコミュニケーションはできて当たり前と捉えられていて、その能力をみかくことを怠っているのが実情です。DiSCを使って、自分を理解し、他の人を理解して効果的なコミュニケーションを実現させる方法を学習するプログラムが考えられます。

コンフリクトマネジメント

対立を好む人はほとんどいないにもかかわらず、それが発生し、長引いて解決に苦労するのはなぜでしょうか。それは、われわれには自分の立場からものごとを見る、という本能があるからです。対人関係上の対立を解決するための理解を促し、効果的な対策を考えるセッションが組み立てられます。

自己への気づき

まわりの目から見えている自分の弱みに、わたしたちはなかなか気づきません。逆に、強みを自覚できず才能をフルに発揮できていないことがほとんどです。

DiSCは、参加者に行動の鏡として活用できる枠組みを提供し、強みや弱みをコントロールできるように促し、対人関係の効果を向上させます。

マネジメント

マネジャーは部下に対し強い影響力を持っています。マネジャーを対象とする研修で、マネジャーとしての強みや弱みを理解・整理し、部下との関係を改善し、業績達成の障害を取り除きます。また、部下の意欲を引き出す効果的なアプローチを学び、自分自身および部下の両方の生産性をさらに高める方向へ導きます。

セールストレーニング

優秀なセールスは、顧客に対してワンパターンなアプローチを行いません。顧客の好みやニーズを読み取り、自分のセールスプロセスを適応させる方法を学び、顧客との良好な関係を築くことを支援します。

チームビルディング

チームのなかでは、メンバー間で助け合い、補完しあうこともあれば、混乱し停滞することもあります。チームというものは、個人の力とグループとしての力の両方に依存しています。メンバー各人の自己認識を高め、またお互いの強みを最大限に引き出し、チームのモチベーションを高めて、チームの効果を向上させる方法を学びます。

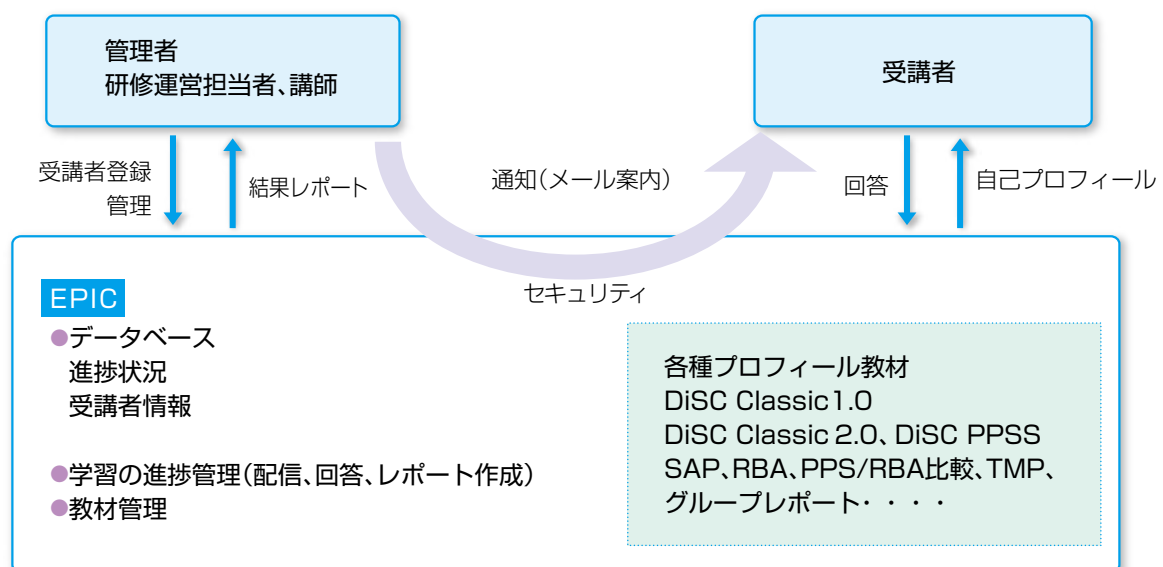
EPICはDiSCプログラム運用の最適プラットフォームです。

いま、EPIC (Electronic Profile Information Center)を使ったDiSCプログラムの運用が世界の潮流となっています。

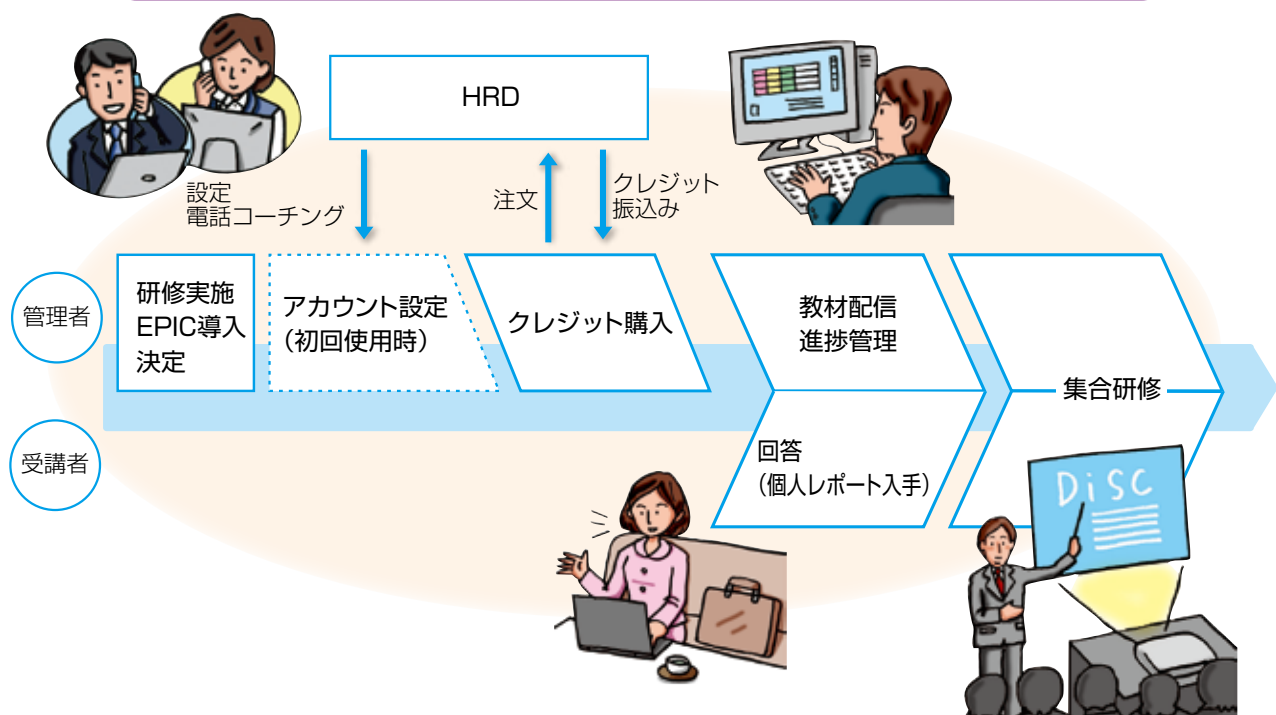
オンラインによるDiSCプログラムトレーニングは、事前回答、読み込みを可能にし、ファシリテーターの事前準備を促し、受講者のデータ管理を効率化するなど、ペーパー版では実現できなかったトレーニングの質向上を可能にしました。

Everything DiSC®1.5eは、このプラットフォームを最大限に活用し、最高品質のトレーニングを提供するDiSCファシリテーションシステムです。

EPIC構成図

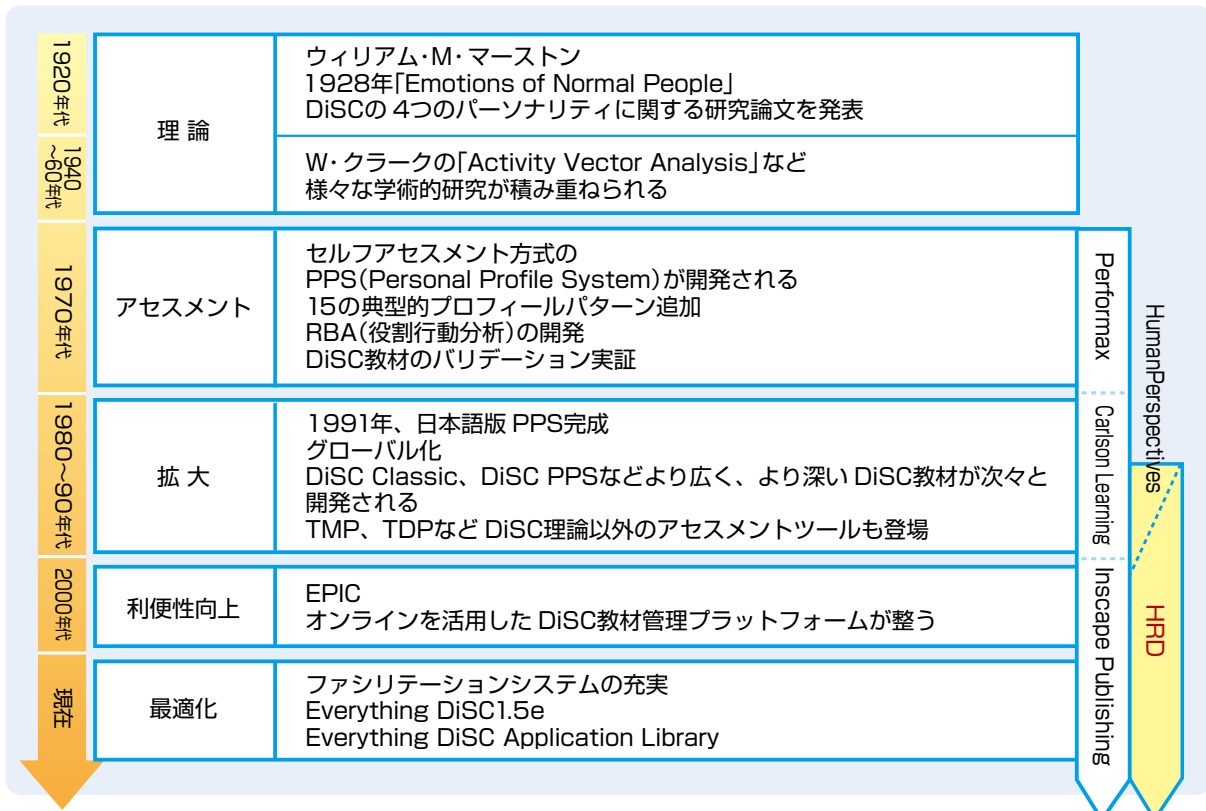


EPICの運用プロセス



DiSCは次の10年に向けて歩み始めています。

DiSCの理論は1920年代に構築され、70年代にアセスメントツールとして開発されました。90年代初め、日本語版 PPSが完成し、HRD社は日本における総代理店としてその普及に努めました。2000年代になると、EPICが登場、DiSCはWEB環境を活用した新しい時代に入りました。そして、いま、統合的なファシリテーションシステム Everything DiSC®1.5eが開発され、EPICをプラットフォームにしたDiSCプログラムが次の10年へ向けて歩み始めました。



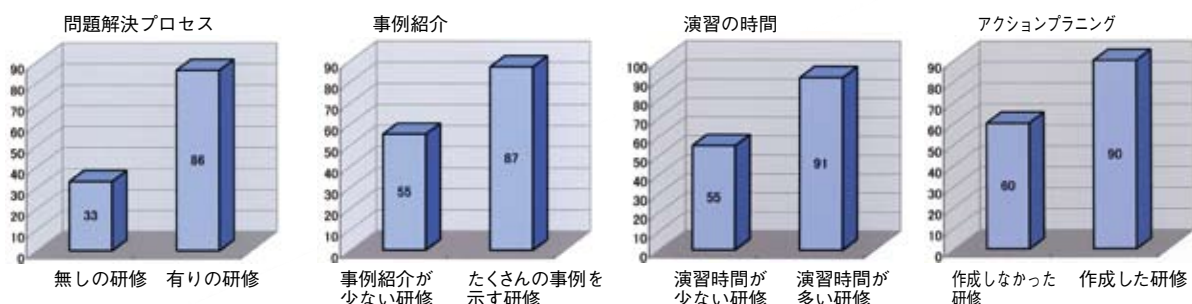
TOPICS

Inscape Publishing 社
研修テクニックと研修効果に関する調査レポート

Inscape Publishing社では、Training誌に研修に対する学習者の見方、研修効果に関する調査結果を掲載しています。調査対象者は研修に参加した4976人。質問内容は「最近受けた研修の中で研修講師が活用していた研修技法はなにか」「それが普段の仕事に役立っているか」。この調査ではどの技法がより効果を発揮したかの順位づけによって、効果性の程度を明らかにしています。

その結果、「問題解決のプロセス有り」「具体的事例を多く提示」「演習有り」「アクションプランを作成」などの技法を活用した研修が仕事の効果性向上に役立ったと回答しています。

■研修で学んだことが仕事の役に立っているか 単位：%



DiSC認定セミナー

●9月より、公開セミナーのプログラム改定

日本語版 Everything DiSC® 1.5eの導入により、プログラムが全面的に改定されます。3日間で受講費用は変更はありません。受講後、3日間のプログラムで体験する1.5eを必要に応じて購入していただく仕組みです。従来の再受講制度も併用できるため、既存の認定資格者の皆様にとっても、DiSC活用のスキルアップのチャンスです。詳しくは、別途ご案内します。

3会場で開催

これまでに、東京95回、大阪35回の認定セミナーを開催してまいりましたが、2009年9月から福岡でも開催しています。

●再受講制度/DiSCの再学習の機会に

既に資格をお持ちの皆様は割引価格で認定セミナーにご参加いただけます。

「DiSCをより深く勉強し直したい」

「久しぶりにDiSCを使った研修の講師をする予定がある」

「受講したのはずいぶん前なので最新のDiSC理論を知りたい」

上記のような資格者の方々が、認定セミナー再受講制度を活用されています。詳細は、HRDまでお問い合わせください。

●インハウス認定コースは随時開催中

DiSC認定は、公開コースだけでなく、各社インハウスコースでも受けられます。

複数名の資格者をまとめて養成したいときは、ご相談ください。

勉強会の開催

「勉強会を開催してほしい」という資格者の皆様の声に応じて、各種ツールの勉強会を企画しています。本年度も、Time Mastery Profile® (TMP)、Team Dimensions Profile (TDP) 等の勉強会を開催予定です。日程は、決まり次第webページ上でご案内します。

EPICがより使いやすくなりました

EPIC管理サイトで、日本語メニュー表示を選択できるようになりました。

ログインサイト内に、日本語マニュアルも準備しています。



米国研修業界の現状報告

Inscape社とISA(研修同業者協会)のアンケート調査による2009年度の米国研修業界の現状がレポートされました。日本における研修業界の動向の参考に、その概要を紹介します。

- 2009年の業績は、40%が前年度とほぼ同じ、60%が非常に悪かったと回答。
- 単にInscape商品の購入額のみならず、代理店の4分の1は売上高が30%以上下がった。
- 2010年の経済全般については、54%が良くなると予想。また、30%が購買額の向上、40%がほぼ変わらないだろうと回答。景気は底をついたとの見方。
- 以上のInscape社の調査結果と同様、ISAの調査でも、同様にゆっくり回復安定の兆しが見えてきたと報告。
- コンサルタントに対して研修講師を招へいして研修を実施してもらうだけではない、これまでとは異なる顧客のニーズも出始めている。たとえばオンラインセミナーへの助言、社内トレーナー養成の要望など。顧客との直接会話を始め、真のニーズをしっかりと把握して応えるべきである。
- Everything DiSCファシリテーションシステムの商品知識とアプリケーションの可能性を知ることが重要。このシステムは研修プロフェッショナルとして新しい研修ビジネスの方向性を知り、的確な戦略のために欠かせないシステムになると予測。